



山口育児院だより

編集・発行 / 社会福祉法人 山口育児院 2016.5.第34号
 〒753-0082 山口市水の上町5-27 Tel 083-922-1027 Fax 083-922-2389
 e-mail y-ikuji@estate.ocn.ne.jp URL http://y-ikuji.sakura.ne.jp/

春です。新年度が始まりました。皆それぞれ新しい環境でのスタートです。子ども達は毎日育児院や学校、地域の中で様々なことを学んでいます。「勉強」と言えば皆やる気が出ないのですが(困ったものです・・・)、日常の中で見聞きしたことを自然と学習しています。新年度の目標を立てることは良いことですが、それに加えて、日常生活の中で年齢相応に多くのことを身につけていく。そのことが何よりも大切なことではないでしょうか。しかし、いくら「種」があっても、何も無い環境では芽は出てきません。施設(家庭)、学校、地域社会という、「縁」があつて初めて学べることです。我々は誰もがその「縁」に支えられて生きていますが、普段はそのことを意識していません。しかし、意識はせずとも間違いなくその「縁」はあります。我々は無意識のうちに「縁」を頂いて成長させてもらっているのです。



花を弄すれば香衣に満つ

弄花香滿衣 (花を弄すれば香衣に満つ)
 一枝の花でも共に戯れれば、その香りが衣服に移っていつまでもその香りを楽しむことができる。我々も、日常の中で多くのことが知らず知らずのうちに身につけているのです。その為にも、先述の「縁」というものを大切にしなければなりません。子ども達を育てる為には、手とり足とりの指導も時には必要でしょうが、何より大切で、何より子ども達の為になるのは、そういう環境の中で育てていくということではないでしょうか。その環境を整えることが大人の責務であり、我々大人もその環境の中でさらに学んで行かなくてはなりません。そういうことを考えると、子どもも大人も共に学び、共に成長していくのが理想となります。

施設長 武重俊之
 りが移るように、体験したことがしつとりとその人に浸透していくことを言います。古人は「ちよと霧の中を行くようなものだ。衣服を濡らしたわけではないのに、いつのまにかしつとりと湿つてしまふ」と説明しています。しかしこの体験とは、必ずしも良いことばかりではありません。悪い体験も同じように身につけてしまふので、そうならないように、日頃から環境を整えることが大切です。子どもの頃は環境は与えられるものかもしれませんが、年齢とともにその環境も自分で選び、自分で作っていかねばなりません。それを「自立」と言います。子ども達には、日々の生活の中でその「自立心」をしつかりと養って欲しいと思います。今年度も宜しくお願い致します。



		本部	施設
事業活動による収支	収入		
	措置費収入	0	139,192,522
	その他の事業収入	0	851,380
	経常経費寄附金収入	290,874	1,074,447
	受取利息配当金収入	70,486	559,721
	その他の収入	10,000	1,119,944
	経常収入計	371,360	142,798,014
	支出		
	人件費支出	142,000	88,969,898
	事務費支出	136,112	4,808,509
事業費支出	0	24,777,473	
その他の支出	0	683,590	
経理区分間繰入金支出	0	0	
経常支出計	278,112	119,239,470	
経常活動資金収支差額	93,248	23,558,544	
施設整備による収支	収入		
	施設整備等補助金収入	0	3,812,480
	固定資産売却収入	0	138,664
	施設整備等収入計	0	3,951,144
	支出		
設備資金借入金元金償還支出		1,320,000	
固定資産取得支出	0	6,037,382	
施設整備等支出計	0	7,357,382	
施設整備等資金収支差額	0	-3,406,238	
その他の活動による収支	収入		
	積立資産取崩収入	0	43,810
	その他の活動による支出	160,000	
	財務収入計	160,000	43,810
	支出		
積立資産支出	0	14,144,050	
その他の活動による支出	0	160,000	
その他の活動支出計	0	14,304,050	
財務活動による収支差額	160,000	-14,260,240	
当期資金収支差額合計	253,248	5,892,066	

平成二十七年年度の決算報告は次の通りです。今後とも宜しくお願い申し上げます。

資産の部		負債の部	
流動資産	25,703,225	流動負債	8,378,315
固定資産	239,933,279	固定負債	18,129,483
基本財産	145,030,046	負債の部合計	26,507,798
その他の固定資産	94,903,233	純資産の部	
		基本金	61,852,105
		国庫補助金等特別積立金	111,902,131
		その他	74,000,000
		次期繰越活動収支差額	-8,625,530
		純資産の部合計	239,128,706
資産の部合計	265,636,504	負債及び純資産の部合計	265,636,504

歩々清風
 本誌では前ウルグアイ大統領のムヒカ氏について書きましたが、ムヒカ氏の言葉を聞いていると、先年亡くなられたワンガリ・マタイ氏が提唱された「モツタイナイ」精神を思い出しました。この「モツタイナイ」という言葉は、マタイ氏が日本で知って、その精神に感銘を受けて使い始めたものです。ムヒカ氏の「少欲知足」の精神も、考えてみると日本では昔から尊ばれている考え方です。日本の良き精神、考え方が他国の人によつて見直されるといふのは、何とも恥ずかしい気がします。我々日本人はせっかく素晴らしい精神を持っているのですから、外にばかり目を向けるのではなく、今一度内に目を向けてみようじゃありませんか。
 「少欲知足」、「モツタイナイ」。素晴らしい言葉であり、肝に銘じておきたい言葉です。(丁)



御案内
 育児院では、地域の方々に施設を利用していただく為に、いろいろなサービスを実施しています。トワイライトサービス
 仕事の関係で帰宅が夜間になる方、お子さんの下校時より仕事終了時迄お預かり致します。
 短期入所サービス
 病氣、事故、出産等でお子さんの養育が難しくなつた時等、短期間お預かり致します。
 当院をご利用ご希望の方はお気軽にご連絡下さい。又ボランティアの受け入れもしております。
 福祉に関心のある方、是非一度ご来院下さい。



文房具購入の寄付金を頂きました！

今年三月、山口市社会福祉協議会を通して匿名の方より寄付金を頂きました。山口市社会福祉協議会によると、善意ある市民(匿名)の方二名様から「市内の児童養護施設の文房具代に活用していただきたい」旨の御寄附があったとのことです。有難く頂戴しました。ちょうど四月から新学期が始まるという時期だったので、大変助かりました。

物を大事にするということとても大切なことで、子ども達にも日頃から言い聞かせています。で



すから、進級をするときでも基本的にはこれまで使っていたものを引き続き使用していくことにしています。しかし一方で、新年度の始まりを新しい文房具で迎えたいと思うのもまた心理です。筆箱の中に新しい文房具が入ると、それだけで何となく嬉しくなるものです。精一杯使った鉛筆に感謝しつつ、時期を見て新しい鉛筆に替えていく。また、新しいノートを手



奮闘！ 大殿地区大運動会！

五月八日、五月晴れの日に大殿地区大運動会が行われ、育児院の幼児と小学生も張り切って参加しました。

前日に行われる予定だった毎年恒例の東鳳登山は、雨天の為二年連続で中止になってしまいました。運動会は晴天に恵まれました。少子化で子ども人数が減っている為、出場できる競技が限ら

にすると綺麗な字で書くこととします。それは最初だけかもしれませんが、そうすることで勉強することが楽しくなってくるのではないのでしょうか。勉強の成績が上がるかどうかは二の次です。まずは楽しく勉強をしていってほしいという希望を胸に抱きながら、期待を込めて子ども達に学習道具を用意し、楽しく学べるように支援していきたいと思えます。

御寄附を下さった匿名の方々、本当にありがとうございました。大切にに使わせて頂きます。

れてしまいますが、それでも出られる競技には皆一生懸命取り組みます。中にはテントの中で面倒くさそうにグータラしている子もいますが・・・。そういう子の一番の楽しみは、お昼のお弁当とおやつのお菓子です。人一倍食べていました(笑)。



熊本地震への義捐金の募金をしました。山口県は直接的な被害はありませんでしたが、知り合いが被災したという話は聞いています。被災した知り合いに聞くと、被災者自身がボランティア活動をしていることが多いと言います。そういう話を聞くと、こうして運動会ができることの有難さを改めて感じます。

午後からは綱引きやじゃんけん大会に参加し、本当に充実した一日を過ごすことができ、終了後、心地よい疲れを感じながら歩いて帰院しました。その日の夜は皆疲れて爆睡したことでしよう。みんな、本当にお疲れ様。

豊かさとはくもつと の多財餓鬼

この四月に、前ウルグアイ大統領のムヒカ氏が来日されました。皆さん御存知の通り、ムヒカ氏はウルグアイ大統領だった二〇一二年、リオでの国際会議(環境の未来を決める会議)で行ったスピーチで世界中から注目された方です。これまで既に様々なメディアでそのスピーチが紹介されていますので読まれた方も多いと思いますが、皆さんはどう感じておられるでしょうか。この国際会議は環境問題を考える会議でしたが、ムヒカ氏は「根本的な問題は私達が作り上げたこの社会モデルである。改めて見直さなければならぬのは私達の生活スタイルだ」と述べておられます。さらに、「石器時代に戻れと言っているのではない。現在は自分達が作り上げたハイパー消費主義社会をコントロールできない。逆に、人類がこの消費社会にコントロールされているのだ。この残酷な競争で成り立つ消費主義社会を、人類がコントロールできるようにしなければならぬ」と言われています。

ムヒカ氏は、「世界一貧しい大統領」と呼ばれていました。大統領としての給料のほとんどを寄付し、自分は国民の平均収入での生活をしていたと言われています。しかしムヒカ氏は、自分を貧しいとは思っていません。「エビクロオ、セネカやアイマラ民族は、貧乏な人とは少ししかものを持っていないのではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ」と言っていると言います。必要最低限のものを持つことが幸せに繋がると主張しておられます。

仏教では、貪りの心を持つものを「餓鬼」と言います。餓鬼には「無財餓鬼」「少財餓鬼」「多財餓鬼」の三種の餓鬼が居るとされています。無財餓鬼は財産を何も持たない餓鬼で、素っ裸で何も食えることができません。少財餓鬼はほんの少しの財産を持っていますが、ぼろきれを身に纏い、腐った水や排泄物のみ食えることができます。それらと比べて多財餓鬼は、抱えきれないほどの財産を持つ

て裕福に暮らしている餓鬼です。先述の「無限の欲がありいくらあっても満足しない人」がこの「多財餓鬼」と言えるでしょう。いつ頃からか、貪欲に求めることを「もつと」と書いているのを目にするものがありませんが、これなどまさに「多財餓鬼」の象徴のように思えます。逆に言えば、例え財産は少なくとも、今与えられているもので満足している人は餓鬼ではありません。

仏教を含む東洋の考え方に「少欲知足」というのがあります。欲を少なくして足るを知るといいますが、この「足るを知る」ということが大切です。人間の欲望はきりがありません。しかし求め続ける限り満足には至りません。幸せにはなれないのです。今自分に与えられている物、環境、立場で充分だと感じることで、足るを知ることです。人は初めて幸せになれるのだと思えます。足るを知ることができると「こころ豊かな人」と言うのではないのでしょうか。だからと言って、今の物質的に恵まれている日本の生活を捨てると言っているわけではありません。ムヒカ氏の言葉ではありませんが、

石器時代に戻れと言っているのではないのです。ただ、欲望に振り回されるのではなく、一人ひとりが主体的に生きていくことが大切だということです。山口育児院の理念である「こころ・慈・和・直」はこの豊かさを説いています。また、基本方針である「よくととのえしおのれ」とは、「欲望に振り回されることなく主体的に生きるおのれ」ということです。

ムヒカ氏のこのスピーチに感動したという人は世界中にたくさんおられます。本当に大切なことを教えてくれていると思えます。しかし大事なことは、それを「実践する」ことだと思えます。ただの感動で終わらせてしまつては意味がありません。我々は今一度基本に立ち返る必要があるような気がします。出来れば、機会をつくって子ども達と一緒に考え、実践に繋げていきたいと思えます。

